



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2014 - 2015 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーに輝きを」

R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン
地区ガバナー 鈴木 孝雄

クラブテーマ 「全員参加で楽しく」

クラブ会長 尾 泉 良 和



2015年3月11日

第 1399 回例会

会長 尾 泉 良 和
幹事 潮 田 幸 一

本日の卓話

「金メダルへの道のり～人との出会いに感謝～」

リレハンメルオリンピック複合団体金メダリスト 阿部雅司様

今後の卓話予定

3/18 「最近の天気と異常気象への備え」

お天気キャスター 気象予報士 山本志織様

3/25 「片 棒」

落語家 古今亭菊丸師匠



年間100%出席

後上 清君 2回

前回 (3/4 1398 回例会) の記録

来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 2名

浪江町立浪江中学校校長 濱名新一 様

古谷会員夫人 古谷幸子 様

◆ビジター 2名

東京足立R.C. 北澤艶子 様

東京浅草R.C. 山本 勇 様

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修正出席率
44名	1名	4名	38名	4名	90.48%	1396回例会修正 欠席8名・出席率79.49%

会長挨拶<尾泉会長>

- ・本日のゲストは、浪江町立浪江中学校校長 濱名新一様、古谷会員の奥様 幸子さんです。
- ・卓話は、「あれから4年 ふるさと浪江を愛し思い続ける生徒の育成を目指して」とい

うことで濱名様にお話いただきます。

- ・3月28・29日と東北へ復興支援視察旅行を予定していますが、浪江町も目的地に入っているのです、大変参考になるお話がきけるものと思います。

幹事報告<潮田幹事>

- ・来週3月11日は、東京葛飾R.C.との合同例会です。
12:30 開会 13:30 閉会 28F「ベルヴェデーレ」
開会点鐘後食事をとるスタイル。くじ引き着席とし、テーブルマスターを置く。

- ・本日、例会終了後、クラブ事務所にて第9回「理事・役員会」を開催いたします。理事役員の皆様、よろしくごお願い致します。
- ・東京池袋R.C.より、第13回「江戸川乱歩記念 小中学生感想文コンクール」旧江戸川乱歩邸見学、ならびに受賞式のご案内が届

いております。クラブ事務所にてご確認ください。

- ・東京足立R.C.より事務所移転のお知らせが届いております。クラブ事務所にてご確認ください。

ください。

- ・第2580地区より姉妹地区である台湾3480地区の地区大会のお知らせが届いております。クラブ事務所にてご確認ください。

委員会報告

＜社会奉仕委員会 斎藤委員長＞

- ・復興支援・被災地視察の最終案内を来週

配布させていただきます。併せて参加費用の徴収を致しますので、よろしくお願ひします。

第9回理事・役員会報告

＜審議事項＞

1. 2月度会計報告……………承認
2. クリスマス家族会会計報告……………承認

＜協議事項＞

1. 東京葛飾東RC合同例会について……………
当番クラブとして、3月11日（水）
12：30～13：30
浅草ビューホテル28F
〔ベルヴェデール〕にて開催
卓話：リレハンメルオリンピック
「スキースノルディック複合団体」

金メダリスト 阿部雅司 様

『金メダルへの道のり ～人との出会いに感謝～』

両クラブ合計で約55名の出席

2. 夜間例会について……………
3月25日（水）18：30～19：30
28F [ベルヴェデール]にて開催
卓話：古今亭菊丸師匠の落語
3月4日現在、会員36名・奥様8名の出席

＜その他＞

1. クラブ事務所のパソコンが不調のため買い替えることにしました。

ニコニコボックス

＜尾泉、潮田＞

- ・濱名新一様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

＜後上、太田、天笠、宮村、山尾、斎藤、古谷、原田、海内、藤掛、永井＞

- ・本日の卓話「あれから4年—ふるさと浪江を愛し、想い続ける生徒の育成をめざして—」
浪江町立浪江中学校校長 濱名新一様
宜しくお願ひします。

＜山尾、内田、藤田、上野＞

- ・新しい台東区長 服部 征夫 様

期待いたします。

＜太田、長島、海内、藤掛＞

- ・東北復興支援 継続を！！

＜植木＞

- ・長いこと欠席致しましたが、本日より復帰致します。よろしくお願ひします。又、クラブよりお見舞いを頂き、まだお礼も申し上げていませんでした。ありがとうございます。

＜大塚、長沼＞

- ・お誕生日のお祝いをして戴き、ありがとうございました。

＜加藤、斎藤、高木＞

- ・100%出席の表彰をして戴きまして誠に有難うございました。

＜加藤＞

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

「あれから4年—ふるさと浪江を愛し、想い続ける生徒の育成を目指して—」



浪江町立浪江中学校 校長

濱 名 新 一 様

1 震災前の浪江中学について

- ・「生徒一人ひとりが、世界一安心して、世界一楽しく学べる学舎の創造」
- ・「いじめという目は持たないで、おりめ、まじめ、けじめ、そしてゆめという目を持った生徒になろう」

2 震災後の浪江中学校の再開について

- ・開校式の様子→震災前400名近くいた生徒が33名の中学校に
- ・開校以降の課題解決に向けて

3 ふるさと教育について

- (1) ふるさと浪江講演会
 - ・ふるさと浪江への想いや絆を深める講話を聞くことにより、ふるさとのよさを再確認させる
 - ・これまで講演をいただいた方々
- (2) 大堀相馬焼き陶芸教室
 - ・浪江町の伝統工芸への理解を深め、伝統文化を継承する心を養う
- (3) 1年生の総合学習
 - ・「ふるさとを知ろう」→ふるさと調べ、民話、郷土料理体験
- (4) 2年生の総合学習
 - ・「ふるさとに学ぼう」→浪江町の事業所の職場体験
- (5) 3年生の総合学習
 - ・「ふるさとに活かそう」→浪江町の人々との交流、浪江町の将来への提言

4 こころざし教育について

- ・夢やあこがれをこころざしに高め、学ぶ目的や喜びを自覚しながら努力する生徒の育成をめざしたい

5 双葉郡教育復興ビジョンについて

- ・双葉郡の復興や持続可能な地域づくりに貢献し、全国や世界で活躍できる人材の育成をめざしている

6 ふたば未来学園について

- ・平成27年4月に双葉郡広野町に新しく開校する高等学校

2014

今と生きる

福島に避難、平子 葵さん(浪江中3年)
二本松に通学

浪江の味で準優勝

全国中高生料理選手権



古里の料理で準グランプリに輝いた平子さん

「町民に食べてほしい」

東京電力福島第一原発事故で、浪江町から福島市に避難している平子葵さん(15)は浪江中三年生。全国の中高生が料理の調理方法と腕前を競う「オレンジページジュニア料理選手権」の個人部門で準グランプリに輝いた。古里自慢のサケとカボチャを使った創作料理が高く評価された。「全国に浪江の素晴らしさを発信したい」と夢を膨らませている。

選手権は、料理レシピ中心の生活情報誌を出版する「オレンジページ」(東京都)がターネット上のウェブ投票も主催し、三回目となった。料理作品のテーマは「大切な人と味わいたい料理」で、平子さんは二本松市に仮校舎を置く浪江中に通う今年、全国から発表の千四百六十八点が寄せられた。このうち家庭科の授業でサケとカボチャを使った郷土料理「はらこ」を決め、新しい料理の開発を始めた。

母直美さん(46)が台所で調理する姿に憧れ、四歳から台所に立ってきた。小学五年だった平成二十三年三月に東日本大震災と原発事故が起き、郡山市や栃木県、新潟県、猪苗代町の体育館や親戚宅などを転々と移った。転居が続き、学校に通えない時期もあった。

直美さんから「またいつ大きな地震が起きるか分からないから」と言われ、余震が落ち着くまで一年以上、包丁を握らなかつた。ただ、料理のできなかった時期を経て「もっと料理が好きになった」と考えた新メニューは「サケしんじょのパンフキンソース添え」。約二カ月かかった。古里の新しい味を広めようと、仮設住宅で腕を磨いている。

調理審査で自慢の腕前を披露すると、自然と笑みが広がった。グランプリは逃したが、オレンジページによると「非常に僅差」だった。古里への思いや調理の手際、味のどれも高い評価を受けた。将来はスポーツ選手の栄養管理士を目指す。料理に県産食材を使い、食べた運動選手が活躍すれば風評の払拭(ふっしょく)にもつながると考える。



平子さんが作ったサケしんじょのパンフキンソース添え